

秋でも起こる食中毒に注意！

食中毒は、湿度や気温から夏に多いと思われがちですが、実は秋も食中毒が多く発生します。今回は秋に多くみられる食中毒の原因や特徴と注意事項について紹介します。

サルモネラ菌



生息場所：生肉、期限の切れた卵、下水など

症状：吐き気、腹痛、38℃前後の発熱、下痢

潜伏期間：6時間～72時間

★生肉はしっかりと加熱し、期限切れの卵は食べないようにしましょう。

ウェルシュ菌



生息場所：煮込み料理の鍋底やお弁当内など

症状：下痢、軽度の腹痛

潜伏期間：6～18時間

★ウェルシュ菌は空気に弱いため、煮込み料理はよく混ぜて、お弁当は冷やしてから蓋をしましょう。

自然毒



生息場所：フグや毒キノコなど

症状：頭痛、嘔吐、下痢、めまい、呼吸困難

潜伏期間：食後約20分～3時間（10時間以上のものもある）

★キノコは有毒植物と食用植物の見分けが難しいため、安易に採って食べたりしないようにしましょう。フグ調理師のさばいたフグを食べましょう。

上記の他にも日常に菌はたくさん存在します。菌をつけない（調理器具や手を洗う）・増やさない（冷蔵庫で保存）・生かさなない（加熱処理）を徹底し、食中毒には十分注意しましょう。

月刊キョア

令和3年10月29号

スポーツキュアセンター
横浜・健志台接骨院

患者さんへのお願い

- ・体調が優れない方、咳や喉の痛みがある場合は来院をお控えください。
- ・来院時から退院時までマスクの着用をお願いいたします。
- ・来院の際には、こまめな手洗いおよび手指消毒をお願いいたします。
- ・来院時に非接触型体温計による検温を行います。



安心・安全のために
三密対策を徹底実施中

10月の診療について

- ・16日、17日は本学の入学試験のため休診となります。
 - ・緊急事態宣言解除に伴い本学の入構制限が緩和されます。
- そのため、診療時間などを右記のように変更致します。
- ・今後の診療状況につきましては、キュアセンターのFacebookにて掲載しておりますのでご確認ください。

【変更前】
9:00～19:00
一般診療なし

↓

【10月1日～】
9:00～20:00
一般診療再開



Facebook
QRコード

◇日曜・祝日の診療について

手技による施術はございませんが、その他の診療は通常診療と同様に柔道整復師が行います。

横浜・健志台キャンパス 3号館1階

TEL：045-479-6262